

# Canon Snappy S



日本語版

使用説明書

## お買い上げありがとうございます。

キヤノンスナッピーSは、面倒な操作は何もいらぬフルオートカメラ。どなたでも気軽に使えます。

カメラを向けられるとついつい意識して固い表情になる人でも、カラフルなスナッピーSなら、写される人も思わずほほえんでしまう可愛いカメラです。ご旅行・パーティなどでは、キヤノンスナッピーSは主役となるでしょう。ぜひ、愉快的気分楽しい記録をお撮りください。

ご使用前に、この使用説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

## 目次

撮影手順	4	ストロボ撮影	16
電池を入れます。	5	フィルムを取り出します。	18
レンズカバーを開けます。	6	ストラップとケース	19
電池のチェックをします。	7	手入れと保管	20
フィルムを入れます。	9	主要性能一覧	20
撮影です。	14	アフターサービスについて	23

■P.3とP.22にカメラの部分名称がありますので開いてご覧ください。

①シャッターボタン ②フィルム枚数計 ③ストロボ  
パイロットランプ

⑩ストラップ  
取り付け部

④ストロボ

Canon

⑤ファインダー窓

⑥測光窓

⑨レンズ

⑧レンズカバー

⑦フィンガーポイント

## 撮影手順(詳しくは本文をお読みください.)

1

電池を入れます。

2

レンズカバーを開けます。

3

電池のチェックをします。

4

フィルムを入れます。

5

撮影です。

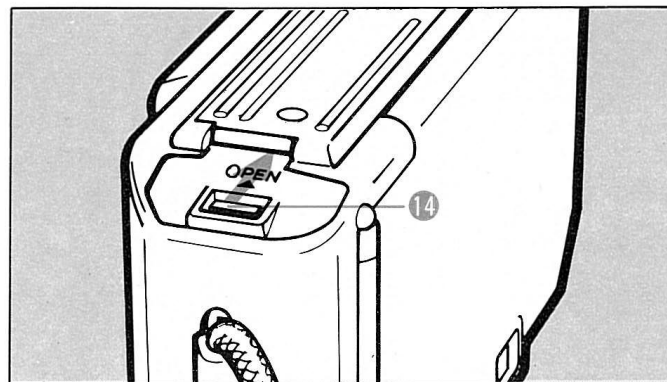
- ①ファインダーに撮りたいものを入れます。
- ②軽くシャッターボタンを押して赤ランプ(ストロボ撮影指示ランプ)が点滅しなければさらに深く押します。  
赤ランプが点滅したら、ストロボ撮影をしてください。

6

フィルムは終わると自動的に巻き戻されますので、フィルムを取り出してください。

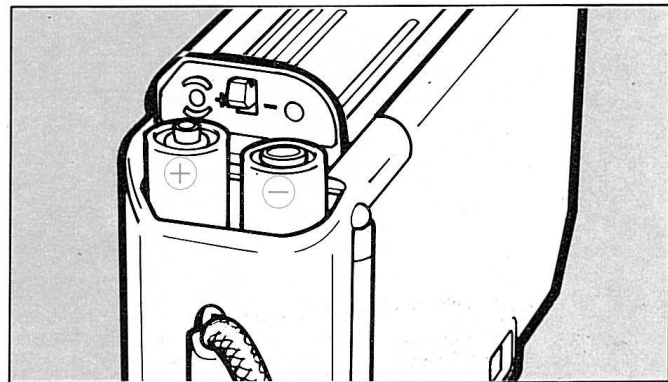


# 1. 電池を入れます



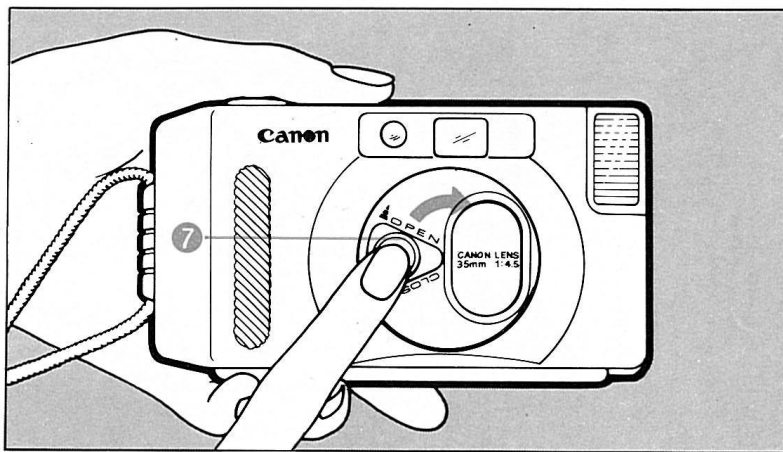
このカメラは電池を入れないと動きません。電池は2本とも同じ銘柄で新品の単4形アルカリマンガン電池をご用意ください。

◎Ni-Cd電池は使用しないでください。



- 1) 電池室カバーを開けます。  
開けるときは電池室開放ノブ⑭を矢印方向に押します。
- 2) 電池を入れます。  
電池室カバー裏面の表示に従って⊕⊖の方向を間違えないように入れます。
- 3) 電池室カバーを閉じます。  
閉じるときはカバーを押し付けるだけです。

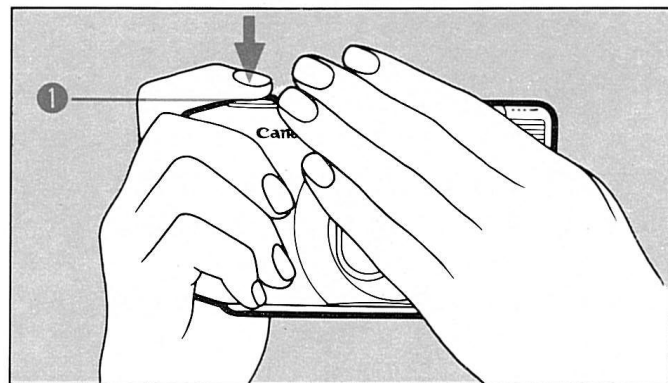
## 2. レンズカバーを開けます



フィンガーポイント⑦に指をかけてレンズカバー⑧を時計方向(OOPEN 矢印方向)に回します。

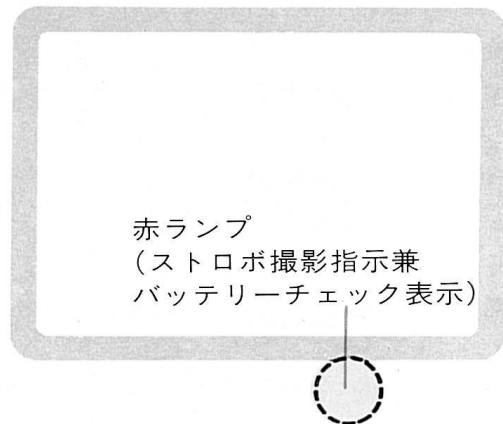
- ◆ レンズカバーを完全に開けないと、シャッターボタン①は押せません。
- ◆ 撮影をしないときは、不用意にシャッターボタンを押したりレンズに触れたりしないように、レンズカバーを閉じてください。

### 3. 電池のチェックをします



1) シャッターボタン①を軽く押しながら、測光窓⑥を手でおおいます。

◆電池のチェックは、ストロボ収納状態で行ってください。



2) ファインダー⑫をのぞいて赤ランプが点滅すればOKです。

◆赤ランプが点滅しないときは、2本とも同じ銘柄の新品電池に交換してください。(電池の⊕⊖が間違っている場合も赤ランプは点滅しませんので確認してください。)

◆撮影可能本数（新品アルカリマンガン電池  
使用時）

常温20℃……24枚撮りフィルム 約50本  
（ストロボ使用時 約5本）

低温-10℃…24枚撮りフィルム 約3本  
（ストロボ使用時 約1本）

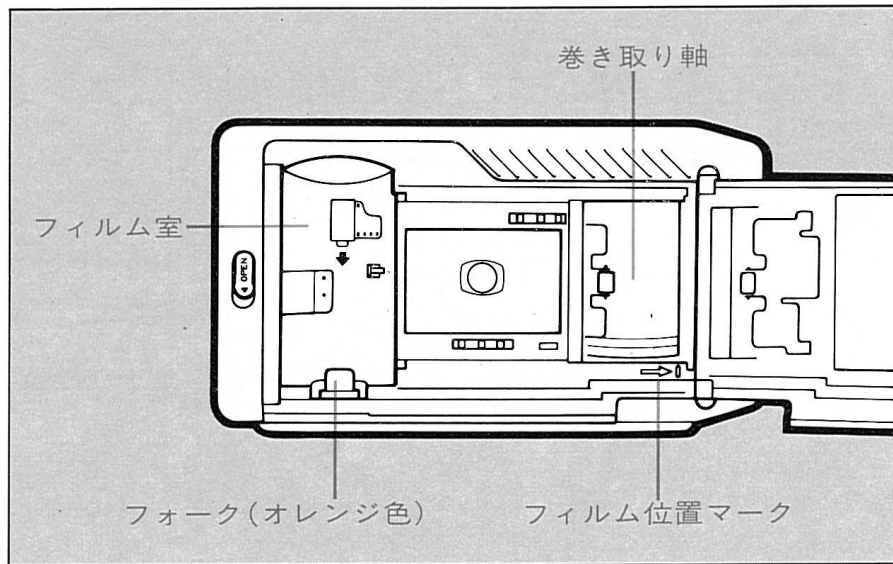
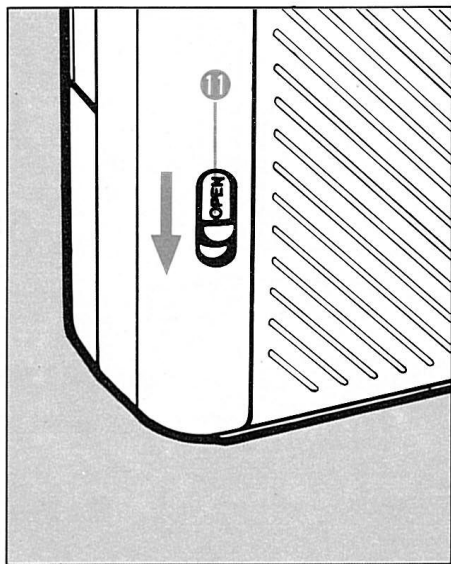
電池によってバラツキがありますので、こ  
の数値は目安にしてください。

◆マンガン電池も使用できますが、撮影本数  
は少なくなります。

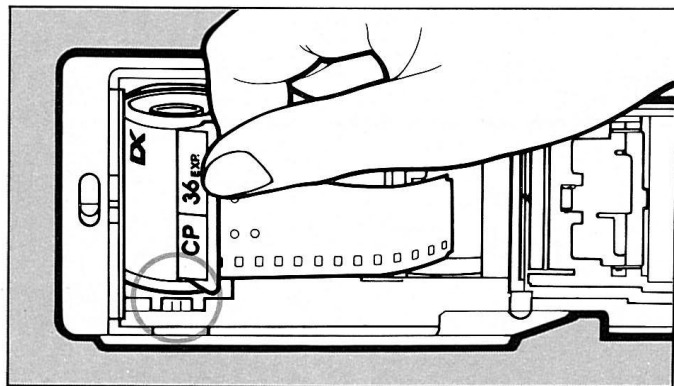
◆電池性能は低温下（0℃以下）では非常に低  
下します。寒冷地でご使用になるときは予  
備の電池を用意し、ポケットなどに入れて  
保温しながら交互にお使いください。なお、  
低温下で低下した電池性能は常温に戻ると  
復元しますので捨てないでください。

◎カメラを長期間使用しないで電池を入れた  
ままにしておくと、電池の液漏れによりカ  
メラが故障することがありますので、電池  
は抜き取って保管してください。

## 4. フィルムを入れます

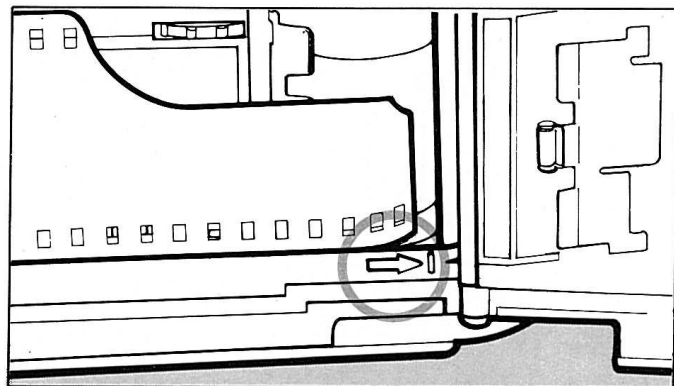



- 1) 裏蓋を開けます。  
開けるときは裏蓋開放ノブ①を押し下げま  
す。



2) フィルムを入れます。

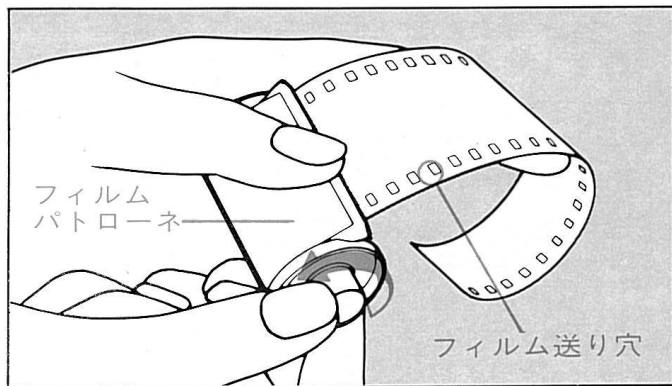
フィルムは図のようにフィルム軸の突き出た方を下にして、オレンジ色のフォークを押し付けながら入れます。



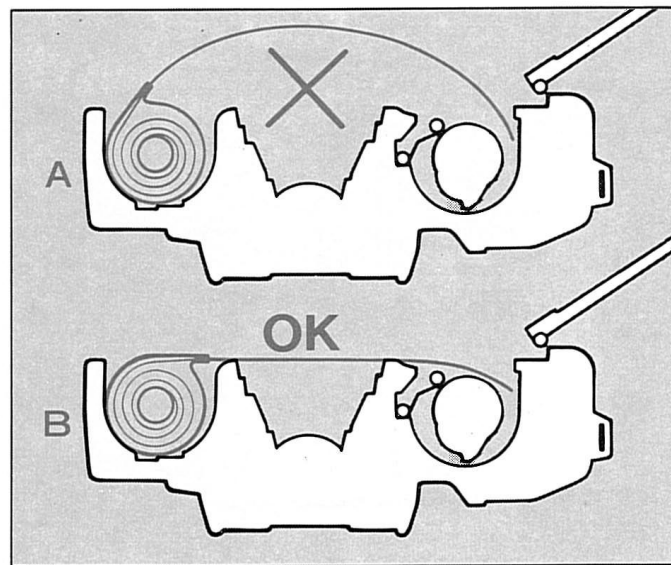
3) フィルム先端をフィルム位置マーク  に合わせます。

フィルムは先端が右下のフィルム位置マークに合うように引き出します。

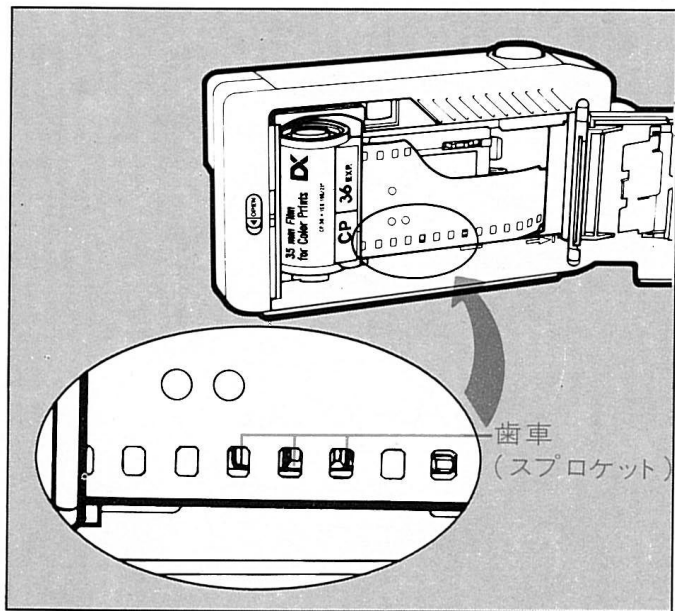




- ◆フィルム引き出し部分が長いときはフィルムをパトローネに少し巻き戻して、フィルム位置マークに合うように長さを調節してください。

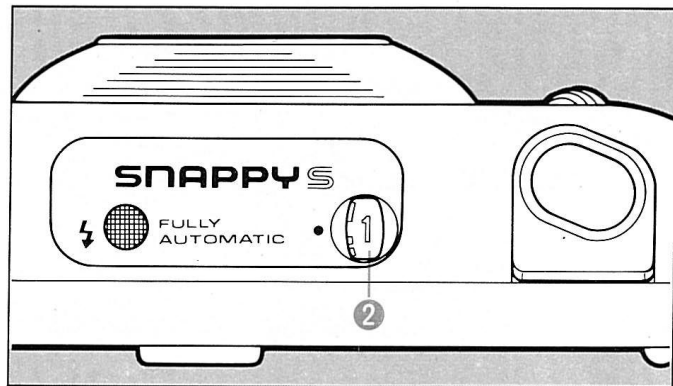


- ◆フィルムはB図のように入れてください。



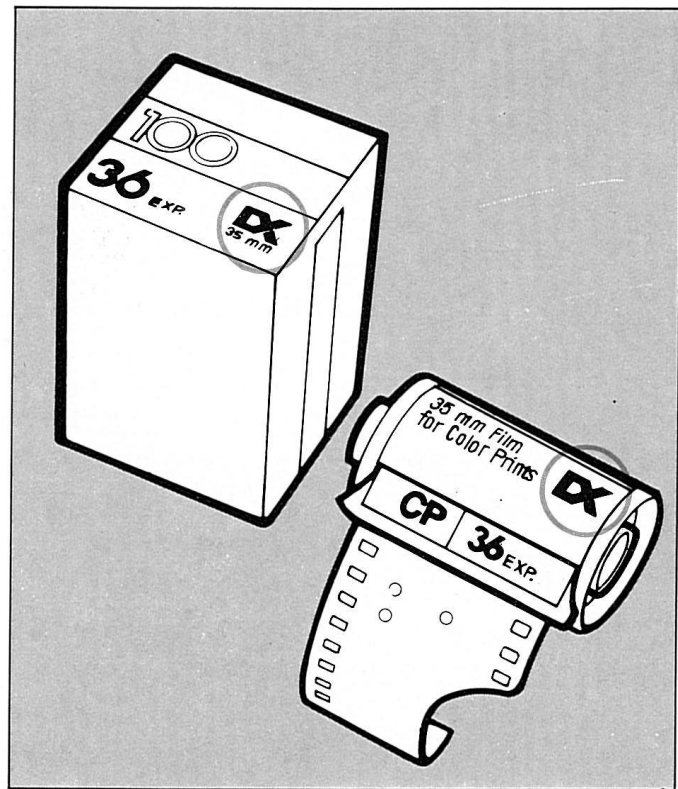
4) 裏蓋を閉じます。

フィルム送り穴に歯車(スプロケット)が入っていることを確認して裏蓋を閉じてください。



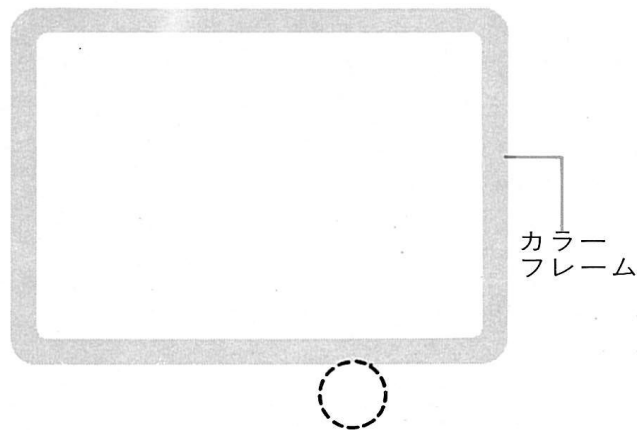
5) シャッターボタンを押して空送りします。フィルム枚数計②に“1”が出るまで繰り返して、シャッターボタン①を押します。

◆ シャッターボタンを押してもフィルム枚数計が動かないときはフィルムが正しく送られていませんので、もう一度フィルムを正しく入れ直してください。



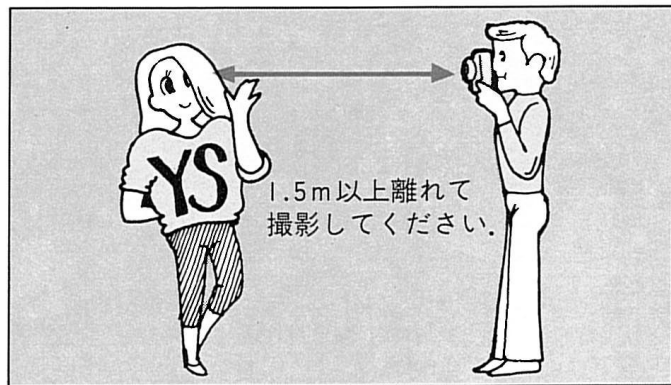
- ◎【DXマーク】付きフィルムをご使用になればフィルム感度セットは不要ですので、DXマーク付きネガカラーフィルムをご使用ください。なお、使用できるフィルム感度はISO 100～400です。(ただし、リバーサルフィルムの場合はISO 100又は400)
- ◎【DXマーク】のないフィルムはISO100をご使用ください。
- ◎フィルムはカメラに入っている場合でも、空港でのX線検査による感光は防止されません。フィルムの入ったカメラであることを検査官に伝え、X線の照射を避けてください。

## 5. 撮影です



### 1) 構図を決めます。

ファインダー⑫をのぞいて撮りたいものの構図を決めます。なお、構図を決める際には、ファインダー縁の薄い黄色（カラーフレーム）が均等に見えるようにのぞいてください。



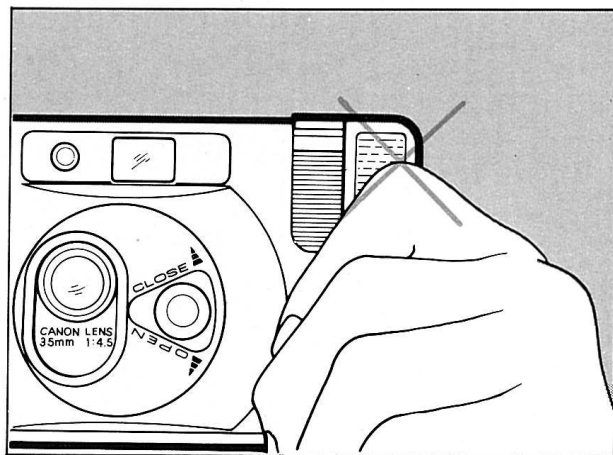
◆撮影できる距離の範囲は1.5m～∞ですので、1.5m以上離れて撮影してください。

### 2) シャッターボタン①を軽く押します。

赤ランプ(ストロボ撮影指示ランプ)が点滅しなければ、さらに深く押して撮影します。点滅するときは、ストロボ撮影を行ってください。(P.16参照)

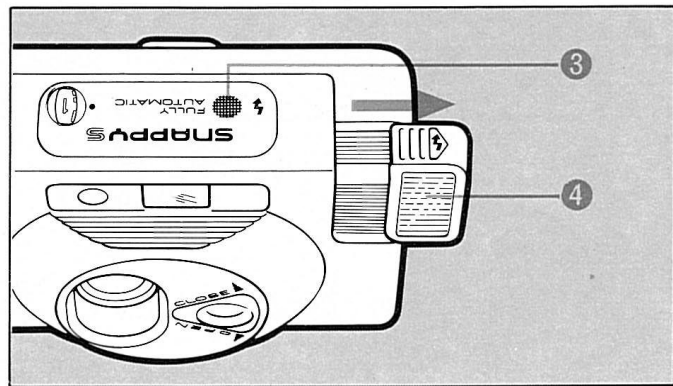


◆カメラを構えるときは、一方のひじを軽く体につけます。

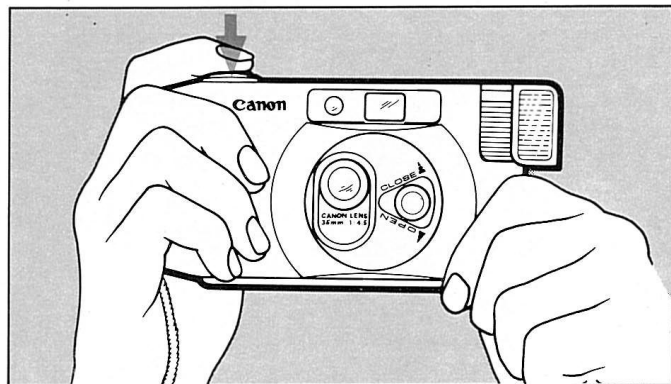


◆カメラ前面の測光窓⑥、レンズ⑨、ストロボ④などを指や髪などでおおわないように注意して撮影してください。

## 6. ストロボ撮影



- 1) ストロボ④を矢印方向一杯に引き出します。
- 2) パイロットランプ③の点灯を確認します。



- 3) ファインダー内に撮りたいものを入れて撮影します。
- 4) ストロボを元に戻します。

撮影後は必ずストロボを押し戻してください。

- ◆パイロットランプが点灯する前にシャッターボタン①を押すと光量不足の暗い写真になります。
- ◆パイロットランプ点灯後でも軽くシャッターボタンを押すと赤ランプが点滅しますが、ストロボ撮影は正しく行われます。





◆ストロボ撮影のできる距離範囲（ネガカラーフィルム使用時）

ISO 100：1.5～3.2m

ISO 400：1.5～6.4m

◆ストロボを使用しないときは、ストロボを必ず押し戻してください。引き出したままにしていると、電池の消耗を早めます。

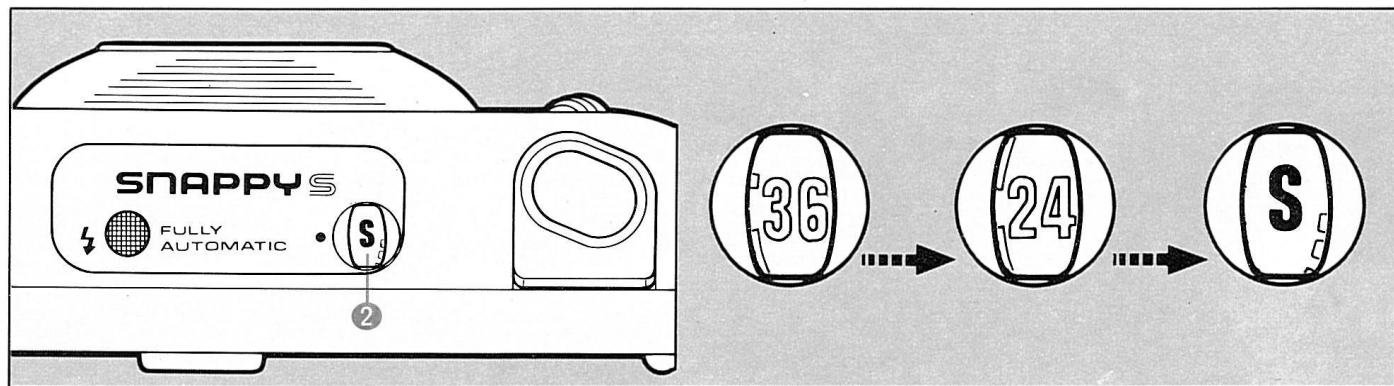
◆ストロボを使用しているときシャッターボ



タンを軽く押したままにしていると、パイロットランプは点灯しません。

◆木かげで葉や枝のかが顔にかかるとき、また室内窓際や夕方などの人物撮影では、人の顔が暗くなってしまうことがあります。そのようなときは3m以内に人物をおいてストロボ撮影をすればきれいな写真を撮ることができます。ご利用ください。

## 7. フィルムを取り出します



このカメラはフィルムが終了すると、自動的に巻き戻されますので、フィルムの巻き戻し操作は不要です。巻き戻し中はフィルム枚数計②が逆算します。

自動巻き戻しが終わるとカメラは自動停止しますので、裏蓋⑬を開いてフィルムを取り出してください。

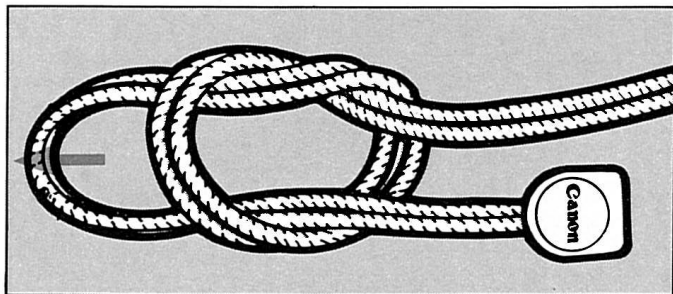
◆裏蓋を開けるときはフィルム枚数計が“S”になっていることを確認してください。

◆巻き戻しが行われているときは、シャッターボタン①を押さないでください。

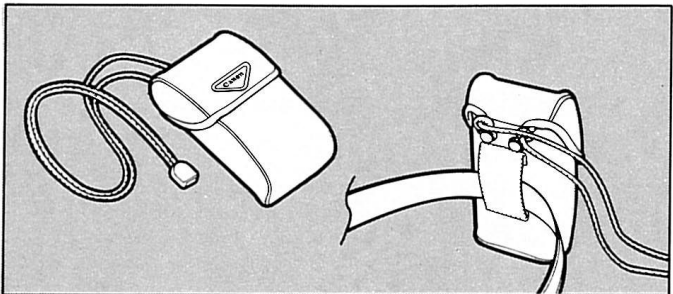
◆撮影の途中で巻き戻しをするときは、レンズを手でおおい、シャッターボタンを繰り返し押し、フィルムを最後まで撮り終わった状態にしてください。

◎フィルムの規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされることがあります。

# ストラップとケース



このカメラはストラップが組み込まれています。図のように長さを調節してご利用ください。



ケースは図のようにベルトに通してお使いいただけます。



## 手入れと保管

- ★カメラ内にごみがついているときは、市販のブロワーブラシで吹きとばすだけにしてください。レンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。なお、特に汚れのひどいときは、最寄りのキヤノンサービスステーションにご相談ください。
- ★カメラを長期間使用しないときは、電池を抜き取り、風通しの良い涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ★直射日光下の車の中などは高温になり、故障の原因となることがありますのでそのような場所にカメラを置かないでください。

## 主要性能

- 〈型式〉 35mmレンズシャッター式固定焦点全自動カメラ
- 〈画面サイズ〉 24×36mm
- 〈レンズ〉 キヤノンレンズ35mm F4.5 3群 3枚
- 〈レンズカバー〉 開けるとレリーズ可能、閉じるとレリーズロック
- 〈焦点調節〉 3 m固定焦点
- 〈撮影距離〉 1.5m～∞
- 〈シャッター型式〉 絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター
- 〈ファインダー〉 逆ガリレオファインダー  
倍率：0.45倍 外周カラーフレーム(黄色)付き  
ストロボ撮影指示兼バッテリーチェックランプ(赤色LED)
- 〈フィルム装てん〉 自動
- 〈フィルム巻き上げ〉 自動
- 〈フィルム巻き戻し〉 フィルム終了時自動巻き戻し開始、完了後オートストップ

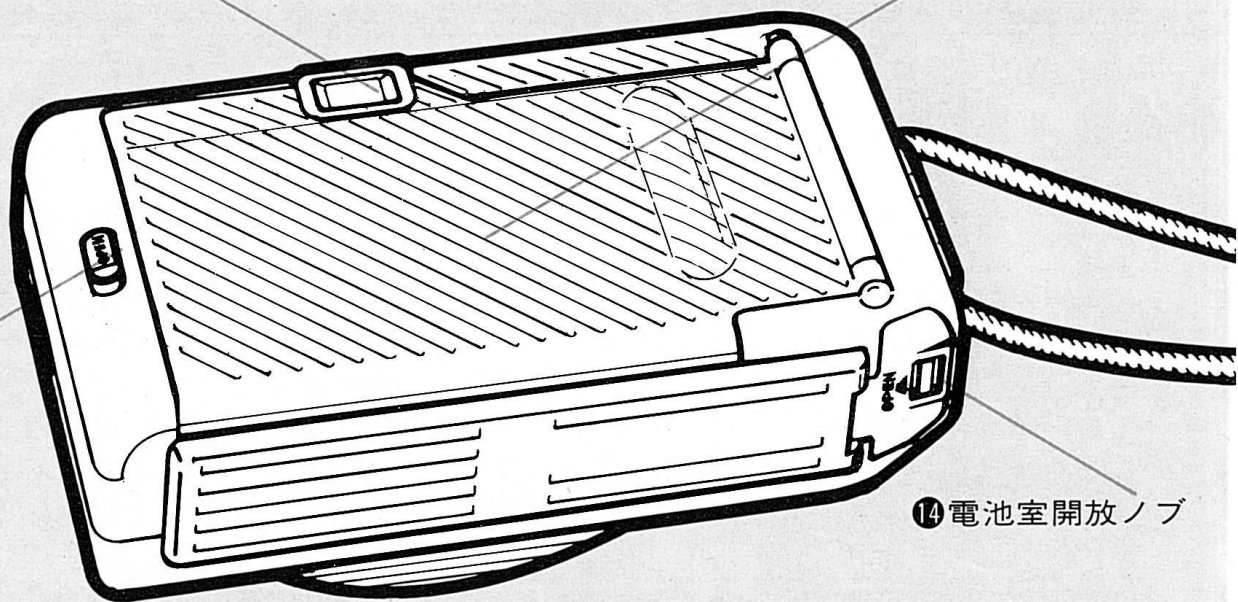
- 〈裏蓋開放〉 裏蓋開放ノブによる
- 〈フィルム枚数計〉 順算式 裏蓋開放により  
復帰 フィルム在否確認兼用
- 〈フィルム感度〉 D Xコード方式により自動  
セット
- 〈測光作動範囲〉 ISO 100/21°でEV10~15
- 〈内蔵ストロボ〉 横スライド方式
- 〈ガイドナンバー〉 9 (ISO 100・m)
- 〈ストロボ連動範囲〉 ISO 100で1.5~3.2m,  
ISO 400で1.5~6.4m
- 〈発光間隔〉 8秒以下 (新品のアルカリマン  
ガン電池使用で発光後パイロットランプが点  
灯するまで)
- 〈撮影可能本数〉 新品のアルカリマンガン電  
池使用時 (常温20℃)
- ストロボを使わないとき  
24枚撮りフィルム約50本
- ストロボを使うとき  
24枚撮りフィルム約5本

- 〈電源〉 単4形アルカリマンガン電池2本使  
用 Ni-Cd電池使用不可
- 〈大きさ〉 123(幅)×68.7(高さ)×44.2(奥行)mm
- 〈重量〉 240g (電池含む)

◎都合により製品の仕様および外観の一部を  
予告なく変更することがあります。

⑫ ファインダー

⑬ 裏蓋



① 裏蓋開放ノブ

⑭ 電池室開放ノブ



## アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において5年間を目安に保有しています。したがって原則として期間中は修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容に

よっては、期間内でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店、または、裏面の当社サービス機関にお問い合わせください。

★修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付する等、修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

# Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田3-11-28 カメラ相談室 (03) 455-9353

◎サービスステーション・営業所

札幌	幌台	〒060	札幌市中央区北三条西4-1	(第一生命ビル)	☎(011)	231-1353
仙台郡	山	〒963	仙台市一番町1-1-30	(やまと生命仙台ビル)	☎(0222)	66-4151
新潟	湯	〒950	新潟市東大通り1-4-1	(マルタケビル)	☎(0252)	23-5618
銀座	座	〒104	東京都中央区銀座5-9-9		☎(03)	43-2111
新宿	宿	〒160	東京都新宿区西新宿2-6-1	(住友三角ビル地下1階)	☎(03)	573-7834
横浜	浜	〒221	横浜市神奈川区鶴屋町3-30-4	(安田生命横浜西口ビル)	☎(045)	348-4725
大宮	宮	〒330	大宮市大成町2-273		☎(0486)	312-0211
静岡	岡	〒420	静岡市鷹匠2-7-2	(静米会館)	☎(0542)	66-3930
名古屋	屋	〒450	名古屋市中村区名駅3-21-7	(三交ビル)	☎(052)	55-2241
梅田	田	〒530	大阪市北区梅田1-8-17	(第一生命ビル)	☎(06)	563-6822
京都	都	〒604	京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町435	(京都御池第一生命ビル)	☎(075)	341-9335
金沢	沢	〒921	金沢市玉鉾2-266		☎(0762)	241-0216
高松	松	〒760	高松市番町3-3-17	(第一讚機ビル)	☎(0878)	91-1215
岡山	山	〒700	岡山市中山下1-9-40	(新岡山ビル)	☎(0862)	33-2933
広島	島	〒730	広島市中区小町2-30	(第二有楽ビル)	☎(082)	22-8228
福岡	岡	〒812	福岡市博多区博多駅前4-20-23	(セントラルビル)	☎(092)	245-7791
福沖	縄	〒900	那覇市泊1-2-2		☎(0988)	411-4172

◎営業所

青森	森	〒030	青森市大字浦町字奥野351-7	(東和ビル)	☎(0177)	75-1666
盛岡	岡	〒020-01	盛岡市上堂3-2-15	(工藤ビル)	☎(0196)	46-8710
松本	本	〒390	松本市双葉町10-22	(双葉町ビル)	☎(0263)	26-5549
千葉	葉	〒280	千葉市末広2-13-2		☎(0472)	61-5121
大分	分	〒870	大分市城崎町1-3-31	(富士火災大分ビル)	☎(0975)	37-4117
鹿児島	島	〒892	鹿児島市山之口町3-22	(住友生命鹿児島ビル)	☎(0992)	24-3141

◎サービスセンター

東京	京	〒108	東京都港区港南2-13-29		☎(03)	450-2731
大阪	阪	〒540	大阪市東区森の宮中央2-10-9		☎(06)	941-1076

◎休業のご案内

新宿(第3木曜日)銀座・梅田(日曜日・祝日)その他(土・日曜日・祝日)

PUB. C-IJ-122

0585N26

© CANON INC. 1985  
CY8-6037-001

PRINTED IN TAIWAN